

Q.今の主なお仕事内容を教えてください。

—①臨床では病棟業務に加えて、耳鼻科外来の仕事も行っています。②三春・田村地域の介護予防事業や、介護認定審査会への参加も合わせて行っています。高齢者の生活習慣病予防と、介護予防事業を一緒に行う「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」のため、地域のサロンに月1-2回お邪魔しています。③三春・田村・周辺地域の「自立支援型地域ケア会議」へ参加しています。言語聴覚士が少ないので、専門職がいない地域への助言方法などが勉強になっています。④三春町のオレンジカフェさくらへの参加・認知症サポーター養成講座への参加を行っています。⑤たむら市民病院・敬老園の関連施設だけではなく、近隣の施設へ行くこともあります。

Q.現在10年を超える勤務を経て、星総合病院・リハビリテーション科の魅力に感じることを教えてください。

—法人全体の魅力は、地域の病院だっていうことが一番かと思います。郡山・三春・田村などの県中地域の病院という側面と、子どものことや病院を退院した後の生活期のことを支える病院という側面があると思います。リハ科も、地域を支えるどの部分にでも関わることができる部署だと思います。職場によっては一部分のスペシャリストにはなることができますが、ここでは全体を通して経験するチャンスがあります。私自身、通勤の課題がなければオリオン(老健)も見てみたいです。子育てをしながら10年以上働いているのは、周りの皆さんの理解があるからこそだと思っています。

言語聴覚士は耳鼻科領域に関わることが出来ますが、ほとんどの言語聴覚士は学校で習う聴覚の領域に臨床現場で関わることがなかなかないんです。その人をトータルでみる、というチャンスを手にするのができるのは良いことだと思います。介護予防の場でも、「聞こえないときはどうしたらいい?」「めまいはどうしたらいい?」などの質問を受けるときがあります。”門前の小僧習わぬ経を読む”ではないですが、関わっているからこそ、学校の知識だけではない点でも応えることが出来ています。

Q.お休みの日の過ごし方やプライベートとのメリハリ、リフレッシュ方法を教えてください。

—朝は5時に起きて、子どものお弁当を作って送り出しています。帰りの電車で合わせて迎えに行きますし、家事もします。子どもが3人いるので子ども中心の生活です。休みの日は子どもと出かけたりしていますが、子どもも大きくなったので、友達との食事などにも行っています。先日は子どもの受験が終わったので家族で旅行にも行きました!

Q.一緒に働きたいと思う言語聴覚士はどんな人ですか?

—「人に寄り添い、相手の求めていることを見極め対応できる人材を育成したい」と思っています。まずはこの病院で働いてみたい、と思ってくれる気持ちがあれば十分だと思います。また、支援職なので自分の健康も大事にしてほしいと思います。中途入職の方もいますが、それぞれが持っている今までの経験や知識を大事にしながら活躍されている方がたくさんいます。人の事が好きな人、人と関わることが好きな方であればぜひ!一緒に働きたいです。

Q.最後に、今後の目標を教えてください!

—高齢者が増える中、いずれみんな病院を出て次の「生活の場」に移ります。病院に来ている人だけにリハビリ職種が関わるのはもったいないと思っていて、退院した方がいかに地域で長く生活できるかという点で支援が出来たらいいなと思っています。三春病院では地域包括ケア病床ができたので、そこから何か発信できたらなと思います。そのほかにも、ご自宅で困っている方や、郡山や市街地に行かないと医療サービスが受けられない、という方がいるなか、どうやって皆さんが自分の好きな土地で暮らせるかの支援を考えていきたいです。